

農 業 共 済 事 業 会 計

1 経営状況

(1) 業務実績

平成24年度農業共済事業会計の業務を前年度と比較すると、次の表のとおりである。

業務実績

区 分		単位	平成24年度	平成23年度	対前年度		
					増減額	比率	
農作物	水稲	加入者数	人	2,986	3,148	△ 162	94.9
		引受面積	a	193,835	193,146	689	100.4
		共済減収量	kg	14,076	15,064	△ 988	93.4
		支払共済金	円	2,593,222	2,937,480	△ 344,258	88.3
	麦 (災害方式・ 共済方式)	加入者数	人	34	34	0	100.0
		引受面積	a	24,414	25,360	△ 946	96.3
		生産金額の減少額	円	13,034,659	8,779,836	4,254,823	148.5
		支払共済金	円	12,300,220	8,442,077	3,858,143	145.7
	麦 (一筆方式)	加入者数	人	1	0	1	皆増
		引受面積	a	549	0	549	皆増
		共済減収量	kg	0	0	0	-
		支払共済金	円	0	0	0	-
家畜	乳牛	加入者数	人	11	13	△ 2	84.6
		引受頭数	頭	1,811	1,825	△ 14	99.2
		死廃事故	頭	149	118	31	126.3
		支払共済金	円	13,196,069	11,814,721	1,381,348	111.7
		病傷事故	件	1,246	1,205	41	103.4
		支払共済金	円	17,223,200	16,729,870	493,330	102.9
	肉牛	加入者数	人	8	7	1	114.3
		引受頭数	頭	232	409	△ 177	56.7
		死廃事故	頭	6	8	△ 2	75.0
		支払共済金	円	434,830	808,053	△ 373,223	53.8
		病傷事故	件	37	151	△ 114	24.5
		支払共済金	円	485,560	1,303,880	△ 818,320	37.2
畑作物	大豆	加入者数	人	(実加入 9) 9	(実加入 5) 6	3	150.0
		引受面積	a	2,049	2,135	△ 86	96.0
		共済減収量	kg	3,804	0	3,804	皆増
		支払共済金	円	1,084,140	0	1,084,140	皆増
園芸施設	ガラス室・プラスチックハウス	加入者数	人	(実加入 10) 18	(実加入 10) 18	0	100.0
		引受面積	m ²	20,867	20,279	588	102.9
		被害棟数	棟	4	0	4	皆増
		支払共済金	円	218,274	0	218,274	皆増

イ. 農作物共済

水稻の引受面積は193,835aで、前年度より689a(0.4%)増加している。獣害(鹿、猪)による被害などのため、被害戸数34戸、共済減収量14,076kg、支払共済金259万3千円(対前年度比88.3%)となった。

麦の引受面積は、一筆方式、災害収入共済方式合計で24,963aであった。前年度より397a(1.6%)減少している。播種後から生育期にかけての降雨と、生育期の低温により市内全域において湿害、生育不良となり、被害戸数25戸、生産金額の減少額13,034,659円、支払共済金1,230万円(対前年度比145.7%)となり、大被害となった昨年と比べてさらに大きな被害となった。

ロ. 家畜共済

乳牛は、引受頭数1,811頭で、前年度に比べて14頭(0.8%)の減少となった。事故件数は死産149頭、病傷1,246件で、支払共済金3,041万9千円(死産1,319万6千円、病傷1,722万3千円)が支払われている。

肉牛は、大規模農家の加入資格喪失により、前年度より177頭(43.3%)減の232頭を引受けた。事故件数は死産6頭、病傷37件で、支払共済金92万円(死産43万5千円、病傷48万6千円)が支払われている。

ハ. 畑作物共済

畑作物(大豆)の引受面積は、2,049a(対前年度比96.0%)と減少したが、引受収量は17,496kg(対前年度比112.3%)と増加した。

開花期の少雨により干害が発生し、共済減収量3,804kg、支払共済金108万4千円(対前年度比皆増)となり、大きな被害となった。

ニ. 園芸施設共済

園芸施設のガラス室・プラスチックハウスは、引受棟数50棟で、前年度に比べ1棟増加した。引受面積は20,867㎡で、前年度と比べ588㎡(2.9%)増加した。

突風による被覆物の被害が4棟発生し、支払共済金は21万8千円(対前年度比皆増)となった。

(2) 予算執行状況

共済事業収益は、予算額1億1,707万円に対して決算額1億154万3千円で、予算執行率は86.7%となっている。これは、主に家畜共済事業、農作物共済事業で決算額が予算額を大きく下回ったためである。

共済事業費用は、予算額1億1,707万円に対し、決算額1億72万8千円で、予算執行率は86.0%となり、不用額1,634万2千円が生じている。これは、すべての共済事業で決算額が予算額を下回ったためである。以下、各勘定の決算内容について述べる。

収益的収入

(単位：円・%)

科 目	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	予 算 率 執 行 率	決 算 額 構 成 比
農作物共済勘定 共済事業収益	21,515,000	17,518,030	△ 3,996,970	81.4	17.3
事業収益	21,514,000	17,518,030	△ 3,995,970	81.4	17.3
事業外収益	1,000	0	△ 1,000	0.0	0.0
家畜共済勘定 共済事業収益	50,369,000	44,644,838	△ 5,724,162	88.6	44.0
事業収益	50,369,000	44,644,838	△ 5,724,162	88.6	44.0
畑作物共済勘定 共済事業収益	1,248,000	1,243,293	△ 4,707	99.6	1.2
事業収益	1,247,000	1,243,293	△ 3,707	99.7	1.2
事業外収益	1,000	0	△ 1,000	0.0	0.0
園芸施設共済勘定 共済事業収益	1,095,000	642,636	△ 452,364	58.7	0.6
事業収益	1,095,000	642,636	△ 452,364	58.7	0.6
業務勘定 業務事業収益	42,843,000	37,494,250	△ 5,348,750	87.5	36.9
事業収益	37,704,000	33,494,250	△ 4,209,750	88.8	33.0
事業外収益	5,139,000	4,000,000	△ 1,139,000	77.8	3.9
合 計	117,070,000	101,543,047	△ 15,526,953	86.7	100.0
事業収益	111,929,000	97,543,047	△ 14,385,953	87.1	96.1
事業外収益	5,141,000	4,000,000	△ 1,141,000	77.8	3.9

収益的支出

(単位：円・%)

科 目	予 算 額	決 算 額	不 用 額	予 算 率 執 行 率	決 算 額 構 成 比
農作物共済勘定 共済事業費用	21,515,000	17,227,529	4,287,471	80.1	17.1
事業費用	21,514,000	17,227,529	4,286,471	80.1	17.1
事業外費用	1,000	0	1,000	0.0	0.0
家畜共済勘定 共済事業費用	50,369,000	44,163,407	6,205,593	87.7	43.8
事業費用	50,369,000	44,163,407	6,205,593	87.7	43.8
畑作物共済勘定 共済事業費用	1,248,000	1,243,293	4,707	99.6	1.2
事業費用	1,247,000	1,243,293	3,707	99.7	1.2
事業外費用	1,000	0	1,000	0.0	0.0
園芸施設共済勘定 共済事業費用	1,095,000	599,030	495,970	54.7	0.6
事業費用	1,095,000	599,030	495,970	54.7	0.6
業務勘定 業務事業費用	42,843,000	37,494,250	5,348,750	87.5	37.2
事業費用	42,589,000	37,338,668	5,250,332	87.7	37.1
事業外費用	4,000	155,582	△ 151,582	3,889.6	0.2
予備費	250,000	0	250,000	0.0	0.0
合 計	117,070,000	100,727,509	16,342,491	86.0	100.0
事業費用	116,814,000	100,571,927	16,242,073	86.1	99.8
事業外費用	6,000	155,582	△ 149,582	2,593.0	0.2
予備費	250,000	0	250,000	0.0	0.0

勘定別収支の推移

収 入

(単位：円・%)

科 目	平成24年度	平成23年度	平成22年度	対前年度比率
共済事業収益	101,543,047	107,883,198	120,398,385	94.1
農作物共済勘定	17,518,030	20,584,454	18,213,588	85.1
家畜共済勘定	44,644,838	44,414,078	58,775,545	100.5
畑作物共済勘定	1,243,293	175,326	821,632	709.1
園芸施設共済勘定	642,636	504,568	468,317	127.4
業務勘定	37,494,250	42,204,772	42,119,303	88.8

支 出

(単位：円・%)

科 目	平成24年度	平成23年度	平成22年度	対前年度比率
共済事業費用	100,727,509	104,258,466	119,509,440	96.6
農作物共済勘定	17,227,529	17,778,988	17,392,074	96.9
家畜共済勘定	44,163,407	43,701,518	58,775,545	101.1
畑作物共済勘定	1,243,293	136,364	821,632	911.7
園芸施設共済勘定	599,030	436,824	400,886	137.1
業務勘定	37,494,250	42,204,772	42,119,303	88.8

イ. 農作物共済勘定

共済事業収益は、予算額2,151万5千円に対し、決算額1,751万8千円で、予算執行率は81.4%となっている。この主な内容は、被害に伴う保険金835万3千円、責任準備金の戻入334万9千円、水稻・麦引受に伴う共済掛金281万9千円である。

共済事業費用は、予算額2,151万5千円に対し、決算額1,722万8千円で、予算執行率は80.1%となっている。この主な内容は、共済金1,489万3千円、責任準備金への繰入113万6千円である。

水稻の被害率は共済金額ベースで0.2%であったものの、麦については21.3%の高被害となった。当年度の農作物共済勘定の収支差引は29万1千円の純利益が計上されている。

ロ. 家畜共済勘定

共済事業収益は、予算額5,036万9千円に対し、決算額4,464万5千円で、予算執行率は88.6%となっている。この主な内容は、家畜引受に伴う共済掛金1,657万8千円、事故に伴う家畜保険金1,527万5千円、受取診療補填金1,031万3千円である。

共済事業費用は予算額5,036万9千円に対し、決算額4,416万3千円で、予算執行率は87.7%となっている。この主な内容は、家畜の死廃、病傷事故に伴う共済金3,134万円及び技術料1,158万9千円である。

死亡・廃用事故は155頭（対前年度比123.0%）、支払共済金は1,363万1千円（同108.0%）と増加した。また、病傷事故については、1,283件（同94.6%）、支払共済金は1,770万9千円（同98.2%）と減少した。

引受が減少し支払共済金が増加したものの、48万1千円の純利益が計上されている。

ハ. 畑作物共済勘定

共済事業収益は、予算額124万8千円に対し、決算額124万3千円で、予算執行率は99.6%となっている。この主な内容は、被害に伴う保険金97万6千円、引受に伴う共済掛金20万5千円である。

共済事業費用は、予算額124万8千円に対し、決算額124万3千円で、予算執行率は99.6%となっている。この主な内容は、共済金108万4千円である。

被害率が共済金額ベースで18.6%と大被害となり、法定積立金6万3千円を取崩し、共済金の支払いに充てた。

ニ. 園芸施設共済勘定

共済事業収益は、予算額109万5千円に対し、決算額64万3千円で、予算執行率は58.7%となっている。この主な内容は、園芸施設引受に伴う共済掛金33万円、被害に伴う保険金19万6千円である。

共済事業費用は、予算額109万5千円に対し、決算額59万9千円で、予算執行率は54.7%となっている。この主な内容は、保険料26万4千円、共済金21万8千円である。

この結果、純利益が4万4千円となっている。

ホ. 業務勘定

業務勘定の共済事業収益、共済事業費用はともに予算額4,284万3千円に対し、決算額3,749万4千円で、予算執行率は87.5%となっている。

事業収益は前年度に比べ176万3千円減少したが、主な減少は、賦課金148万5千円（24.8%）となっている。

事業費用は前年度に比べ486万6千円減少したが、主な減少は、損害防止費329万4千円（38.8%）、一般管理費152万1千円（5.2%）となっている。

以上の結果、事業収支で384万4千円の損失、事業外収益は受取寄付金400万円だったため、差引き15万6千円が当年度総利益となっている。

業務勘定の推移

収 入

(単位：円・%)

科 目	平成24年度	平成23年度	平成22年度	対前年度	
				増減額	比率
事業収益	33,494,250	35,256,810	37,119,303	△ 1,762,560	95.0
受取補助金	25,133,000	25,500,000	25,500,000	△ 367,000	98.6
受取奨励金	515,902	590,638	443,687	△ 74,736	87.3
賦課金	4,514,868	6,000,252	6,691,409	△ 1,485,384	75.2
受託収入	13,050	21,400	69,600	△ 8,350	61.0
受取損害防止 事業負担金	2,634,560	2,530,980	2,661,750	103,580	104.1
事業勘定受入	675,870	593,540	1,742,857	82,330	113.9
業務雑収入	7,000	20,000	10,000	△ 13,000	35.0
事業外収益	4,000,000	6,947,962	5,000,000	△ 2,947,962	57.6
受取寄付金	4,000,000	5,000,000	5,000,000	△ 1,000,000	80.0
受取利息	0	0	0	0	-
業務雑利益	0	300	0	△ 300	皆減
業務引当金戻入	0	1,947,662	0	△ 1,947,662	皆減
合 計	37,494,250	42,204,772	42,119,303	△ 4,710,522	88.8

支 出

(単位：円・%)

科 目	平成24年度	平成23年度	平成22年度	対前年度	
				増減額	比率
事業費用	37,338,668	42,204,772	41,187,816	△ 4,866,104	88.5
支払賦課金	1,895,687	2,024,250	2,067,702	△ 128,563	93.6
一般管理費	27,635,331	29,156,122	28,526,966	△ 1,520,791	94.8
普及推進費	159,392	257,288	170,446	△ 97,896	62.0
損害評価費	2,065,220	1,890,298	2,003,500	174,922	109.3
損害防止費	5,188,390	8,482,066	8,027,210	△ 3,293,676	61.2
負担金	135,000	135,000	135,000	0	100.0
業務固定化債権 引当金繰入	2,656	2,756	0	△ 100	96.4
業務雑費	0	0	0	0	-
減価償却費	256,992	256,992	256,992	0	100.0
事業外費用	155,582	0	931,487	155,582	皆増
業務支払利息	0	0	0	0	-
業務財産処分損	0	0	0	0	-
業務雑損失	0	0	0	0	-
業務引当金繰入	155,582	0	931,487	155,582	皆増
合 計	37,494,250	42,204,772	42,119,303	△ 4,710,522	88.8

各共済勘定の純利益である農作物共済勘定29万1千円、家畜共済勘定48万1千円、園芸施設共済勘定4万4千円は、次のとおり積立てられる予定である。

共済勘定別剰余金積立予定表

(単位：円)

項目 区分	法定積立金		特別積立金		合計		24年度 未処分 剰余金
	当期	累計	当期	累計	当期	累計	
農作物	0	56,434,118	290,501	17,414,888	290,501	73,849,006	290,501
水稻	0	56,434,118	290,501	8,333,995	290,501	64,768,113	290,501
麦	0	0	0	9,080,893	0	9,080,893	0
家畜	240,716	596,996	240,715	898,771	481,431	1,495,767	481,431
畑作物	0	939,461	0	594,703	0	1,534,164	0
園芸施設	21,803	738,338	21,803	517,384	43,606	1,255,722	43,606
合計	262,519	58,708,913	553,019	19,425,746	815,538	78,134,659	815,538

2 財政状態

財政状態（貸借対照表）を前年度と比較すると、次の表のとおりである。

比較貸借対照表

（単位：円・％）

科 目	年度別金額		対前年 度比率	構成比	
	24年度	23年度		24年度	23年度
流動資産	183,560,670	189,043,613	97.1	99.5	99.3
現金預金	100,649,370	102,168,702	98.5	54.5	53.7
一時貸付金	80,283,702	82,832,273	96.9	43.5	43.5
未収金	2,638,738	4,048,702	65.2	1.4	2.1
固定化債権引当金	△ 11,140	△ 6,064	183.7	0.0	0.0
前払費用	0	0	-	0.0	0.0
その他流動資産	0	0	-	0.0	0.0
固定資産	996,172	1,253,164	79.5	0.5	0.7
有形固定資産	1,142,190	1,142,190	100.0	0.6	0.6
減価償却累計額	△ 1,027,968	△ 770,976	133.3	△ 0.6	△ 0.4
無形固定資産	76,440	76,440	100.0	0.0	0.0
拠出金	805,510	805,510	100.0	0.4	0.4
資産合計	184,556,842	190,296,777	97.0	100.0	100.0
流動負債	85,899,554	90,212,688	95.2	46.5	47.4
一時借入金	80,283,702	82,832,273	96.9	43.5	43.5
未払金	3,908,333	3,445,863	113.4	2.1	1.8
責任準備金	1,707,519	3,934,552	43.4	0.9	2.1
その他流動負債	0	0	-	0.0	0.0
固定負債	20,522,629	20,367,047	100.8	11.1	10.7
業務引当金	20,522,629	20,367,047	100.8	11.1	10.7
剰余金	77,319,121	76,092,310	101.6	41.9	40.0
法定積立金	58,446,394	57,285,331	102.0	31.7	30.1
特別積立金	18,872,727	18,806,979	100.3	10.2	9.9
当年度未処分剰余金	815,538	3,624,732	22.5	0.4	1.9
繰越剰余金	0	0	-	0.0	0.0
当年度純利益	815,538	3,624,732	22.5	0.4	1.9
負債・資本合計	184,556,842	190,296,777	97.0	100.0	100.0

(1) 資 産

資産は、流動資産と固定資産であり、資産総額1億8,455万7千円は、前年度と比較し574万円(3.0%)減少している。

流動資産の主な内訳は、現金預金が151万9千円(1.5%)減少の1億64万9千円、一時貸付金が254万9千円(3.1%)減少の8,028万4千円、未収金が141万円(34.8%)減少の263万9千円である。一時貸付金は各共済勘定から業務勘定への貸付分であり、未収金については家畜共済勘定における死廃、病傷事故への保険金及び診療補填金、農作物共済勘定における交付金が主となるが、平成25年5月末現在で一部を除き収入済である。

一方、固定資産は、有形固定資産114万2千円、無形固定資産7万6千円、拠出金80万6千円で、減価償却分が102万8千円、差引き99万6千円が計上されている。

(2) 負 債

負債は、流動負債と固定負債であり、負債総額1億642万2千円は、前年度と比較し415万8千円(3.8%)減少している。

流動負債の主な内訳は、一時借入金が254万9千円(3.1%)減少の8,028万4千円、未払金が46万2千円(13.4%)増加の390万8千円である。このうち、未払金は家畜共済勘定の死廃、病傷事故に対する共済金が主で、平成25年5月末現在で全額支払済みである。

一方、固定負債の業務引当金は2,052万3千円で、前年度に比べ15万6千円(0.8%)増加している。これは業務勘定の収支差引分15万6千円を、業務引当金へ繰り入れたものである。

(3) 資 本

剰余金は、法定積立金が前年度に比べて116万1千円(2.0%)増加の5,844万6千円となり、特別積立金が6万6千円(0.3%)増加の1,887万3千円で、総額は122万7千円(1.6%)増加の7,731万9千円となっている。

当年度未処分剰余金は、農作物共済勘定29万1千円、家畜共済勘定48万1千円、園芸施設共済勘定4万4千円、合計で81万6千円となっている。これは、各共済勘定収支における当年度未処分剰余金であるが、平成25年度に法定積立金及び特別積立金へ積立てられる予定である。(共済勘定別剰余金積立予定表参照)

3 まとめ

当会計の事業は、農業災害補償法に基づき、農作物、家畜、畑作物及び園芸施設において不慮の事故に因って被る損失を補てんし、かつ、農業経営の安定、生産力の発展に資することを目的としている。

平成24年度における本市の農業共済事業は、総共済金額が16億7,241万円となり前年度に比べ4,649万円減少している。

損害防止事業は、水稻損害防止事業として、特別積立金67万6千円を取り崩し、ウンカ類、いもち病及びカメムシ等の一斉・共同防除を126農会に委託して実施した。委託料総額は424万8千円である。また、ヌートリア、アライグマ、鹿及び猪等の有害獣対策として、小動物捕獲装置及び大型有害獣捕獲檻の貸出事業を実施した。家畜については一般損害防止事業として、農家ごとに対応した家畜用栄養補助剤、乳房炎防止用タオルの配布を、特定損害防止事業として繁殖障害の検診等を実施した。

農業を取巻く環境は厳しく、市内農家においても高齢化が進むとともに、後継者不足となっている。水稻については、共済掛金率の引き下げもあり、損害防止事業の財源である特別積立金は減少傾向であり、将来的には損害防止事業の実施への影響も懸念されるところである。獣類による農作物の被害が顕著な状況であるが、今後も引き続き農業従事者の立場に立ち、農政課と協力しつつ損害防止事業の推進や経費の削減等に努めることにより、本事業の効果的、安定的な運営が行われることを望む。